

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和元年10月15日（火）

### 2 確認箇所

- ・免震重要棟集中監視室
- ・双葉通り（陳場沢川横断近傍）

### 3 確認項目

- (1) 1号機燃料デブリ冷却状況確認試験の実施状況
- (2) 台風19号により崩落した路肩の状況

### 4 確認結果の概要

- (1) 1号機燃料デブリ冷却状況確認試験の実施状況について

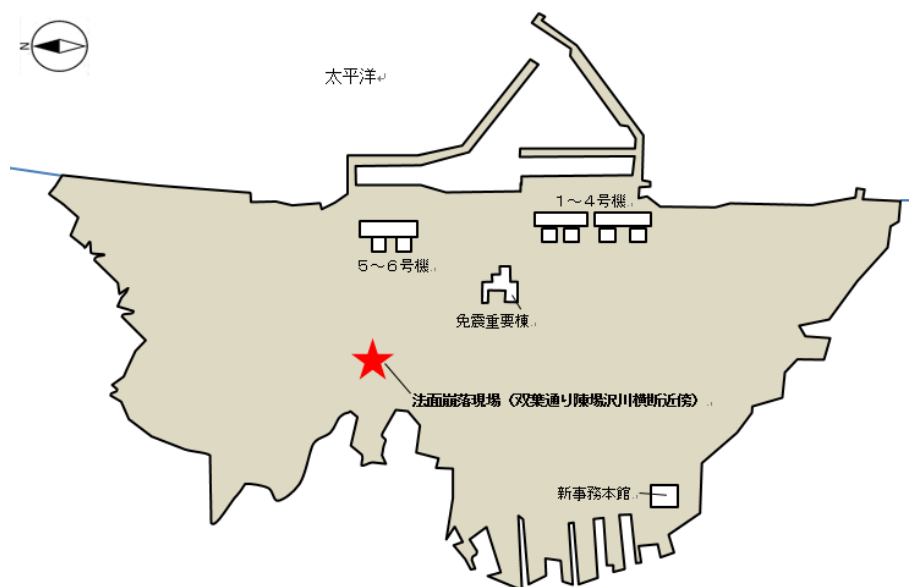
原子炉注水停止時の手順の最適化や運転・保守管理上の改善等を行うことを目的とした1号機燃料デブリ冷却状況確認試験の1号機原子炉注水停止試験が本日（10月15日）から開始され、1号機の給水系原子炉注水量を停止する操作が行われたことから、免震重要棟集中監視室での作業の実施状況等を確認した。

- ・免震重要棟集中監視室と現場の東京電力社員が緊密に連絡を取り合い、慎重に作業を進めていた。
- ・作業は、10時05分から10時54分にかけて実施され、問題なく注水の停止（約3.0 m<sup>3</sup>/h→0 m<sup>3</sup>/h）が実施された。
- ・作業開始前後で、原子炉注水ポンプ圧力等のプラント関連パラメータに異常な値は確認されなかった。
- ・なお、1号機原子炉注水停止試験は、この状態を10月17日まで継続し燃料デブリの冷却状況の実態を把握することになっており、東京電力は2日間で原子炉圧力容器底部の温度が最大8.7℃程度上昇する予測をしている。（停止試験開始時の原子炉圧力容器底部温度：約26℃ 原子炉圧力容器底部温度に係る「運転上の制限」※：80℃以下）  
※「運転上の制限」：施設の保安のために必要な措置として規定された安全機能を確保するために必要な動作可能な機器（ポンプ等）等の台数や原子炉の状態毎の遵守すべき制限事項（温度や圧力等）。

- (2) 台風19号により崩落した路肩の状況について

台風19号により、敷地内の一部法面の崩落が発生したことから、本日はその中の双葉通り（陳場沢川横断近傍）の状況を確認した。

- 路肩は幅 1 m 程度崩落しており、崩落した箇所周辺には囲いが設置されており、立ち入りが制限されていた。なお、車両は片側の車線を通行することができる状態であった（写真 1）
- 路肩の崩落により、ガードレールに歪曲が生じており、ガードレール及び給水管の基礎地盤が崩落していた。なお、給水管の基礎地盤の崩落による給水への影響は確認されていない。（写真 2）



(図 1) 双葉通り陳場沢川横断近傍概略図 (★印が今回確認箇所)



(写真 1 - 1)  
北東側から撮影



(写真 1 - 2)  
片側通行の状況



(写真2-1)  
ガードレールの歪曲と基礎地盤崩落  
の状況  
ガードレールの赤丸部分に歪曲が生  
じている



(写真2-2)  
給水管の基礎地盤崩落の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。